

「福島イノベーション・コースト構想」教育・人材育成支援事業
地元企業・研究施設見学

去る10月7日（水）、「福島イノベーション・コースト構想」教育・人材育成支援事業の一環として、5つのテーマに基づきコースを設定し、地元企業及び研究施設を訪れ研修を行いました。

【テーマ1 廃炉技術】 廃炉技術櫛葉遠隔技術開発支援センター・廃炉資料館



＜廃炉技術櫛葉遠隔技術開発支援センター＞



＜廃炉資料館＞

資料館では、原発の仕組みや、廃炉への取り組みの展示の他に、当時の中央制御室の再現や当時運転手だった方のインタビュー映像等を見ることができた。施設の全ての展示や映像を見るには3時間要するそうだが、今回は短い時間で濃い内容のものだった。二つ目の施設ではVR体験ができ、1Fの2号機の原資炉格納容器を身近に見ることができた。また、実際に廃炉に関わるロボットの操縦もできた。

【テーマ2 ロボット技術】 菊池製作所南相馬工場・富士コンピュータAI技術研究所



＜菊池製作所南相馬工場＞



＜富士コンピュータ AI 技術研究所＞

菊池製作所では、携帯電話の外装部品などの精密部品や装着型ロボットについて詳しく学んだ。AIを用いたロボットや顔認証システムなどについて見学・体験したがこれらは危険な場所での作業や救助、介護など多様な用途があり、また多くの人の手によって作られていることがわかった。介護施設でも利用されている会話ができるロボットなどもあり、これからロボットは多分野でますます大きな役割をはたしていくものと思った。

【テーマ3 環境の再生・創造】リプルんふくしま・コミュタン福島



<リプルんふくしま>



<コミュタン福島>

リプルんふくしまでは、原発事故によって汚染された土壌や廃棄物の区別、安全で確実な処理の過程を知り、必要以上の対策を講じることで「安心できること」を大切にされた作業が行われているのだと感じた。また、コミュタン福島では震災当時の様子や復興への取り組み、球体の内部が全てスクリーンになっているシアターが印象的で、福島県の魅力が最大限に詰まった映像が投影され、思わず見渡してしまうほどの迫力だった。

【テーマ4 環境の再生・創造】産業復興紅梅夢ファーム・小高ワークスペース



<産業復興紅梅夢ファーム>



<小高ワークスペース>

スマート農業が作業の効率を良くするだけでなく若い人にも感心を持ってくれる農業であると同時に、農業の良さや魅力を若い人たちが発信する機会であると知った。また小高ワークスペースでは、地域の課題を手助けの役割としてビジネスで解決し地域コミュニティの場を設けることで、自立した地域社会の実現を目指していた。大きなものを一つ作るより小さなものをたくさん作る方が、何かあったときのつながりが強くなるという話が印象に残った。

【テーマ5 震災の歴史・雇用の創出】 東日本大震災・原子力災害伝承館・福島エコクリート



＜東日本大震災・原子力災害伝承館＞



＜福島エコクリート＞

原子力災害伝承館は今年9月にできあがったこともあり、映像や資料などがとてもわかりやすかった。また、当時の状況が事細やかに示されていたので同じような災害に遭ってもそれを活かして行動したいと思った。福島エコクリートでは石炭灰からORクリートができるまでの一連の流れを見学した。廃棄物から資源へと変換できるだけでなく水質浄化剤としても使えるとのことで今後の復興への促進に繋がるといいと思った。